

第2章 大阪府における現状と課題について

3. 「大阪府子ども総合計画」後期計画の取組状況

重点施策の取組状況

「大阪府子ども総合計画」では、基本方向の「重点的な取組」に掲げる事業のうち、大阪府として、特に重点的に取り組むものを重点施策として設定し、「5年後の大阪府の姿」をめざし、取り組んできました。これまでの取組によって、一定の効果があがっているものの、継続して取り組んでいかないといけない課題も残っています。

重点施策の取組状況は、以下のとおりです。

※項目中の◎、○、★印は、それぞれ対応する事業（個別指標）の進捗状況です。

◎：着実に取組が進んだ（目標達成度 100～80%）

○：おおむね取組が進んだ（目標達成度 79～50%）

★：計画どおりに進んでいない（目標達成度 49%以下）

【基本方向1】若者が自立できる社会

①キャリア教育の充実		自己評価
◎	キャリア教育全体指導計画に基づいた取組の共有	◎
	府立高校生の就職内定率	◎
	知的障がい支援学校高等部卒業生の就職率	○
	府立支援学校高等部卒業生の就職希望者の就職率	◎
②若者の就職支援		自己評価
◎	OSAKAしごとフィールドにて実施した職場体験の実施状況	◎
	金融機関等と連携した合同企業説明会の開催実績	◎
③困難を有する若者の社会参加・社会的自立に向けた支援		自己評価
◎	ひきこもり支援に携わる人材の養成研修受講者数	◎
	課題を抱える生徒フォローアップ事業で居場所の運営を行った高校の数	◎

第2章 大阪府における現状と課題について

3. 「大阪府子ども総合計画」後期計画の取組状況

【基本方向2】 子どもを生み育てることができる社会

④安心して妊娠・出産できる仕組みの充実		自己評価
◎	「にんしんSOS」相談実績	◎
	妊婦健診未受診や飛び込みによる出産対策事業の実施状況	◎
	周産期緊急医療体制コーディネーター設置事業の実施状況	◎
	産婦人科救急搬送体制確保事業の実施状況	◎
⑤地域の教育コミュニティづくりと家庭教育の支援		自己評価
○	小学校区における「おおさか元気広場」の実施率	◎
	市町村（政令市を除く）における、大人に対する親学習を小学校数以上実施する市町村数	★
⑥義務教育前の子育て支援の充実		自己評価
◎	認定こども園の数	◎
⑦ワーク・ライフ・バランスの実現		自己評価
◎	女性活躍に向けたセミナーの開催実績	◎
	OSAKA女性活躍推進会議の運営状況	◎
	保育士・保育所支援センターにおいて、復職応援セミナー、職場体験、求職相談等の実施状況	◎
⑧ひとり親家庭等に対する就業支援の充実		自己評価
○	ひとり親家庭等の就業機会創出のための支援を実施した市町村数	○

第2章 大阪府における現状と課題について

3. 「大阪府子ども総合計画」後期計画の取組状況

【基本方向2】 子どもを生み育てることができる社会

⑨児童虐待防止の取組		自己評価
◎	乳児家庭全戸訪問事業の実施状況	◎
	子ども家庭総合支援拠点の設置市町村数	◎
⑩社会的養育体制の整備		自己評価
○	里親等委託率	○
⑪障がいのある子どもへの支援の充実		自己評価
◎	医療的ケアを要する重症心身障がい児者等支援部会における医療的ケア児者支援のための取組状況	◎
	医療型短期入所支援強化事業の実施状況	◎

第2章 大阪府における現状と課題について

3. 「大阪府子ども総合計画」後期計画の取組状況

【基本方向3】 子どもが成長できる社会

⑫学力向上の取組の推進		自己評価
◎	「全国学力・学習状況調査」における小中学校の平均正答率	◎
	グローバルリーダーズハイスクールの現役国公立大学進学率	◎
⑬豊かな心を育む取組の充実		自己評価
◎	研修アンケート「『考え、議論する道徳』の実現に向けた授業改善について、理解を深めることができたか」についての回答割合	◎
◎	人権教育に関する研究授業の実施率	◎
	「志（こころざし）学」実践事例集の活用状況	◎
	人権教育教材集の活用率	◎
⑭幼児教育・保育、子育て支援に関わる人材の確保及び資質の向上		自己評価
◎	保育教諭・保育士の数	◎
⑮就学後の子育て支援の充実		自己評価
◎	放課後児童クラブ整備補助実績	◎
◎	放課後児童支援員認定資格研修実績	◎
	放課後児童支援員等資質向上研修実績	◎
	利用者支援事業の実施か所数	◎
⑯青少年の健全育成、少年非行防止対策の推進		自己評価
◎	刑法犯少年の検挙・補導人員数	◎
	小学校高学年等に対する非行防止・犯罪防止教室の実施率	◎